

部局名

農学部 海洋生物環境学科

担当: 岩槻 幸雄

テーマ

沿岸性魚類資源と人類との共存



私の研究を含み沿岸性魚類の世界の研究の歴史について概説し、学生に研究の面白さを実感してもらいたい。私の新種の発見を含む魚類の研究の一端を、一言では言い尽くせないが、壁にぶつかって続けた頃からおもしろくなると、若い人にとっておきたい。沿岸生態系は複雑で、深海よりも浅い。研究は身近なのに、実際かなり奥が深く、真実が見えたと実におもしろい。また若い日本人がこの分野での貢献も大いに今後期待したい。



詳細内容はQRコードから確認できます

▲ 砂漠の中の一軒家(オマーン南部にある海洋研究所の支所、首都マトラから西に800km)のトイレの前での標本固定作業風景

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fishery/post-25.html>



**Polysteganus mascarenensis
Iwatsuki &
Heemstra 2011**

インド洋マスカレーン諸島で見つかった大型のタイ科魚類の新種
Mascarene red seabream 全長80 cm



**ヤマトイトヒキサギ
Gerres macrophthalmus
Iwatsuki, Kimura &
Yoshino 2002**

日向灘周辺のみ見られる特異的な日本の固有種
全長15 cm



**セダカダイミョウサギ
Gerres akazakii Iwatsuki,
Kimura & Yoshino 2007**

日向灘周辺のみ見られる特異的な日本の固有種
全長16 cm